

えぬえむあーる

かくじききょうめい

NMR (核磁気共鳴)

■ 用語解説 ■

核磁気共鳴 (Nuclear Magnetic Resonance)。原子核は固有の磁気核スピン (物理量と方向) を有している。磁場をかけるとそれぞれの磁気核スピンに対応した方向に整列する。ここでラジオ波領域の電磁波をあてると核磁気共鳴がおき、微小なエネルギーを放射する。このスペクトルから分子を構成する原子1つ1つを区別し見るのが NMR 分光法である。